

2026年5月26日

当院血液内科を退院された患者さんへ

当院では下記の臨床研究を倫理委員会の承認ならびに病院長の許可のもと、倫理指針および法令を遵守して実施しております。

本研究の対象者に該当する可能性のある方で、診療情報等を研究目的に利用または提供されることを希望されない場合は、下記の問い合わせ先までお申し出くださいますようお願いいたします。希望されない場合でも、今後の診療において不利益を被ることは一切ありません。

1. 研究課題名	造血器腫瘍患者における入院時 Cancer Fatigue Scale と退院時運動耐容能との関連
2. 承認日 承認番号	令和8年6月22日 No.177
3. 当院の研究責任者	リハビリテーション室 理学療法士 市川 沙希
4. 他の研究機関 研究責任者	国立がん研究センター先端医療開発センター 精神腫瘍学開発分野へ集計結果のみ提供
5. 本研究の目的	造血器腫瘍患者さんは、疾患そのものや化学療法とそれに伴う有害事象、長期入院、活動量低下などにより、がん関連疲労（Cancer Related Fatigue：以下、CRF）が高頻度に出現すると言われています。CRFは入院中のみならず、退院後の日常生活活動や生活の質の低下に強く関連することが報告されています。しかし、CRFと運動耐容能に関する直接的な関連は明らかにされていません。 本研究は、CRFの評価指標として信頼性・妥当性が高く臨床で広く用いられている Cancer Fatigue Scale を使用し、退院時運動耐容能との関連を統計処理して検討し、造血器腫瘍患者さんにおける関連性を明らかにすることを目的としています。得られた結果は、造血器腫瘍患者さんに対するリハビリテーション介入や退院支援の向上に役立てることを目指しています。
6. 調査データ 該当期間	2020年9月1日から2025年3月31日までに当院血液内科へ入院し退院された患者さんの情報を調査対象とする
7. 研究の方法 (使用する試料等)	1) 対象となる患者さん 上記期間内に当院血液内科に入院し、 リハビリテーションを実施した造血器腫瘍患者さん 2) 利用する情報 電子カルテに記載のある診療録（年齢、性別、診断名、治療内容、リハビリ実施状況及び評価内容、入院日数）、検査データを利用します
8. 試料/情報の他の 研究機関への提供 および提供方法	本研究で使用する評価指標である Cancer Fatigue Scale 開発元の規定に基づき、個人を特定できる情報（氏名、生年月日など）を含まない集計結果のみを下記機関へ提供いたします。 提供先：国立がん研究センター先端医療開発センター 精神腫瘍学開発分野 提供方法：郵送
9. 個人情報の取り扱い	本研究で利用する情報は、患者さんを直接特定できる個人情報を削除いたします。本研究で利用する情報は、本研究の責任者が研究終了まで厳重に管理し、研究終了時点で完全に抹消し、破棄します。 また、研究成果は学会等で発表を予定していますが、その際も個人を特定できる情報は利用しません。

10. お問い合わせ	伊勢原協同病院 リハビリテーション室 電話：0463-94-2111 担当者：市川 沙希
11. 備考	